

## ロボット勉強会の設立

### 1. 設立趣旨

25年問題の解決に向け、医療福祉分野でのロボット応用が注目されており、その市場規模は数兆円とも言われている。このような社会情勢、市場ニーズに対応し、社会貢献していくためには、産学連携、医工連携の推進を旨とするNPOが組織的にこの問題に取り組む必要があり、仮称ロボット勉強会を立ち上げる。ただ、NPOの役割はくまでも技術やシステムの提供側（シーズ側）と要医療介護側（ニーズ側）との円滑な結合を図るためのバブ的調整役であるインタフェースとして活動し、大学や企業に対し、科研申請、ベンチャー育成や新規事業立ち上げなどの支援を行い、ニーズ側の役に立つ活動を行うことである。

勉強会の運営においては、産学官連携を推進する一方で、地域介護施設、行政部門、医師会などとの交流を深め、真に役立つロボット、特徴あるロボットの研究開発の実現を目指す。

### 2. 活動方針

勉強会が立ち上がった段階では、まず、メンバーにおいて目的、目標、方向性等についてのコンセンサスの形成が急がれる。その上で

- (1) 公募などの情報収集
- (2) ニーズ調査
- (3) シーズの整備

などから進めるべきと考える。

進め方としては全体会議、個別検討、研究発表会の開催などを柔軟性をもって定期的、あるいは随時行い、物づくり構想、調査研究などについて具体策をまとめる。

成果は助成金等の申請だけでなく、対外的には学会発表、機関紙発行、ホームページ上でのレポートなどにより、活動を広くアピールする。

### 3. メンバー構成案

世話役	東海大学情報教育センター	教授	沖 眞
委員	東海大学工学部教授		甲斐義弘
委員	東海大学工学部教授		小金澤鋼一
委員	東海大学情報通信学部教授		渡辺晴美
委員	NPO副理事長		渡辺貞一
委員	日本無線(株)関西部長		伊東 厚
委員	(株)青葉技術代表取締役社長		宮代文夫
委員	(株)キンニク・ラボ代表取締役		恒川 尚

委員 (株)メタキューブ代表取締役 大林元晴  
事務局 NPO理事長 周藤安造  
オブザーバー 品川区福祉施設、品川区福祉部に依頼する。

当面は準備会のような形で沖先生に東海大学側と企業、NPO側とのインタフェース役として活動して頂き、世話役をお願いしたいと思います。しばらくこの体制で活動し、勉強会が軌道に乗った段階で必要とすれば改めて体制の強化を図りたいと思います。

オブザーバーが勉強会に参加するのはおそらく困難であり、こちらから訪問し意見やアドバイスを受ける。場合によっては、福祉施設での勉強会の開催や意見交換会、システムや機器の試行実験なども依頼する。

#### 4. 日程

メンバーとの相談、議論により計画を立てるが、今のところ、2月中に企業、NPO側メンバーによる意識合わせ、4月頃に第1回目の勉強会の開催を考えています。

#### 5. その他

会場は東海大学湘南校舎、高輪校舎、NPO鷺沼仮分室などとする。

以上